

平成 21 年度 第 2 回図書館協議会 会議録

- 1 開催日時 平 22 年 2 月 23 日 (火) 午前 10 時～午前 11 時 18 分
- 2 開催場所 宇都宮市立図書館 集会室
- 3 出席委員 12 名
國吉委員，設樂委員，田村委員，亀山委員，郷間委員，平野委員，是国委員，豊口委員，佐々木委員，麦倉委員，高橋委員，武井委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 なし
- 6 議事
 - (1) 報告事項
平成 21 年度図書館事業実施結果について
平成 21 年度図書館利用者アンケート調査結果について
 - (2) 協議事項
平成 22 年度図書館運営目標及び事業計画について
 - (2) 委員提案事項
 - (3) その他
- 7 閉会
- 8 発言の要旨

佐々木会長 皆様には、大変お忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。本年の国民読書年にあわせて、子ども読書のまち宇都宮・市民フェアが 2 月 13 日に開催され、皆様にご協力いただきまして無事終了しました。厚く御礼申し上げます。

このイベントを通して、個人レベルでの読書活動に定着することを期待します。

それでは、議事に入ります。本日の議事は、(1)報告事項と(2)協議事項を予定しています。それでは、報告事項に入ります。報告事項アの「平成 21 年度図書館事業実施結果について」を事務局から報告願います。

事務局 平成 21 年度図書館事業実施結果について説明。

麦倉委員 実施結果の 3 ページの障がい者サービスについて、障がい者が対面朗読を利用する時にバスの停留所まで送迎してもらい、感謝の言葉をもらっていますので、引き続きよろしく願います。

佐々木会長 次に、報告事項イの「平成 21 年度図書館利用者アンケート調査結果について」、事務局から説明願います。

事務局 平成 21 年度図書館利用者アンケート調査結果について説明。

委員一同 (了承)

- 佐々木会長 次に、協議事項の「平成22年度図書館運営目標及び事業計画について」、事務局から説明願います。
- 田村委員 市内の中学校でボランティアによる読み聞かせや朝読を、実施していますか。
- 事務局 平成19年度から中学校に図書館から出向いて、本の紹介や読み聞かせを実施し、好評を得ています。今後も引き続き実施する予定です。
- 平野委員 第3図書館の開館に向けて様々な事業を予定するだろうが、次代を担う子どもを育てることとシルバー世代の活用を併せて、後世に残せるような事業を検討してほしい。
- 事務局 新しい図書館の開館に合わせて新しい事業を企画することは、必要なことです。第3図書館は子どもをコンセプトにしていますので、子どもに関する事業や高校生や高齢者の方など幅広い世代の方に喜んでいただける事業を準備したいと考えます。
- 國吉委員 学校巡回図書サービスに関連し、今後幼稚園や保育園に巡回図書サービスを拡大する予定は、ありますか。
- 事務局 第2次子ども読書活動推進計画の中で、保育所・幼稚園・宮っこステーション等における子どもの読書活動の推進として、保育所・幼稚園への読書活動支援のため、幼稚園や保育園に支援拡大を図るとしてあります。まずは、幼稚園や保育園の先生への読み聞かせ支援を、開始していきたいと考えます。
- 國吉委員 私立幼稚園は資金面で制限がありますが、保護者の意識が高いので読み聞かせはかなり実施しています。巡回図書サービスを利用できると、子どもたちによい本を提供できるので、ぜひお願いしたい。
- 事務局 小中学校図書室と図書館を本の物流で結んでいる事業は、全国に先駆けたもので宇都宮市が率先的に取り組んでいます。これまでの実績を踏まえて、今後枠の拡大を検討してまいります。
- 麦倉委員 図書館利用者アンケート調査結果について、11ページの図書館が行っているサービスについての知名度が低いようですが、今後どのようにPRしていくのですか。
- 障がい者サービスにおいて、音訳図書はITの普及により、種類が増えていきますので予算の関係もあると思いますが、ご配慮願います。
- 事務局 各図書館では生活支援サービスの充実として、市立図書館は一般開架室中央付近に医療・健康コーナーと子育てコーナーを設置しています。利用者アンケートにおいて、PR不足の結果がでていきますので、図書館のホームページや図書館だよりなどでPRに努めてまいります。
- 障がい者の方が利用する媒体ですが、デイジーの利用希望が多くなってい

ます。ダイジー対応の機器の購入について、来年度予算措置予定です。設備と資料の充実を図ります。

貸出手続確認装置を導入後5年経過し、かなりの効果がでています。蔵書点検においては、以前に増して不明の図書数は激減しています。

亀井委員 河内図書館の雑誌リサイクル市の内容について、説明願います。

事務局 雑誌の種類は、多岐に亘っています。資料は東図書館と河内図書館のものです。今年度の実施状況は、リサイクル冊数は約3,500冊で、来場者は約500人です。22年度においても同様に実施予定です。

亀井委員 学校図書室でボランティアをしている関係で、学校図書室の本が不要になった場合には、どのように処分しますか。

事務局 学校管理課に確認したところ、学校図書室の予算は、各学校にそれぞれ配分します。図書の選書は、各学校で行います。

貸出しに耐えられない本などは、全国学校図書館協議会が定めた除籍の基準に基づき、処分を判断するという回答です。除籍した本は、学級文庫に充てるなどそれぞれの学校で判断をしています。規程に基づき処分しています。

来年度以降、各学校間で連携し本をやり取りする仕組みを考えているという回答が、ありました。

市内の図書館では、不用になり再使用に耐えられる本は、一般市民や来館者に定期的にリサイクル本として提供しています。一回に一人10冊まで利用でき大変好評です。有効に市民の方に利用していただいています。

平野委員 図書館利用者アンケート調査結果について、上河内図書館の回収数ですが、少ないように思います。通常の利用状況は、どうですか。

事務局 学生に声をかけて回収しました。平日は約230人、土・日・祝日は約300から320人の利用があります。

平野委員 前年度の協議会の会議では、合併間もないということで上河内から選出の委員には、新しい提案をするなど熱意を感じられました。市として同じレベルで事業への対応が必要と思います。

事務局 今後は、生涯学習課や上河内民俗資料館と協力連携し、事業を計画してまいります。

武井委員 図書館利用者アンケートについて、図書館を利用したくても利用できない人の意見を収集できるアンケートを、検討してほしい。

事務局 今年度で3回目になりますが、調査項目は同じにして経年の変化を見る意図がありました。利用者の認知度が調査できたので、今後は図書館に来たくても来られない方の声を調査するアンケートを検討してまいります。

ホームページを利用した調査や郵送によるもの、または広報広聴課が実施している市民アンケート調査にのせるなど、意見の収集方法を考えていきます。

いと思います。

また、みや図書館サービスプランを策定する際に、一般市民の方から郵送によるアンケートを平成19年7月に実施し、回答率は4割弱でした。今後も、このようなアンケートを、定期的の実施していきたいと考えます。

武井委員 平成22年度図書館運営目標の(4)レファレンスと課題解決型サービスの充実について、アンケート結果ではレファレンスサービスを知っていますかの項目で、知らないという回答が6割と高いので、来館し利用している方にもレファレンスサービスがあることを知ってもらうことも、同時に行う必要があると思います。

事務局 これまで2回実施したアンケートにはない項目で、図書館で実施しているレファレンスサービスについて認識してもらうための第一歩として、今回設問に入れたものです。図書館として、このサービスを知らない方が多いことを自覚し、今後このサービスを利用してもらえるようPRしていくことの資料とさせていただきます。

武井委員 ファレンスサービスを知ってもらうための、具体的方法はどのように実施していきますか。

事務局 市立図書館は、一般開架室と調査相談カウンターが連携し、より一体化したサービスを実施しています。

資料の5ページの事業実施のなかで「図書館利用法講座」では、図書館の利用促進及び資料情報の収集を支援するため、職員がフロアに出て調べ物のお手伝いをすることで、レファレンスサービスの強化につなげるものです。

また、資料の4ページの東図書館の実施事業で「ウ レファレンスと課題解決型サービスの充実の(ア)レファレンスサービスの強化」の項目で、利用者の調査・研究を援助するため、資料・情報を収集する手がかりとなるパスファインダーを作成し、レファレンスサービスの強化を図っています。

亀井委員 中学生のBOOKナビは、市内の中学生に配布しましたか。

事務局 作成部数の関係で市内中学校に配布し、館内の中学生コーナーにこの冊子を設置しています。

佐々木会長 原案のとおり、承認されました。

長時間にわたりまして、熱心なご審議ありがとうございました。以上で、平成21年度第2回図書館協議会を閉会いたします。